京　都　大　学
医療技術短期大学部紀要

第5号　　1985年

目　　次

総　説

笠原勝幸，山室隆夫：免疫監視機構と受動免疫療法…… 1

濱　弘道：老化と骨折…… 8

原　著

川嵜伸子，山本真理子，田中洋子，西村和司，植村宗弘：ヒト血清中のマンナン結合タンパク質のラジオイムノアッセイによる定量法の確立とその臨床化学的意義の検索……17

KASAHARA, K., IKEDA, T., OKUMURA, H., YAMAMURO, T. and FUJITA, A.: Efficacy of Homogenous Bone Grafting in McCune-Albright Syndrome……30

黒木裕士，赤松郁夫：脳卒中片麻痺患者における病院内実用歩行の目標速度および目標距離……41

白石　裕：適切な教育と教育の地元支配
—判例にみるアメリカの教育—……47

加茂映子：リッチの第6詩集 *The Will to Change*
—繰り返される旅立ち—……60

石井誠士：人間の現在 —哲学的省察— ……73

投稿規定……89

編集後記

COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGY · KYOTO UNIVERSITY · 1977

京大医短部紀要

ISSN
0286－7850

投　稿　規　定 (昭和60年10月8日改定)

投　　稿：投稿論文は，総説，原著，短報などとし，本短期大学部教職員（元教職員を含む）が著者，または共著者であるものに限る。

論文の受付：原著（表紙，本文，図，表など）はコピー2部を添え(計3部)，当該年度の6月30日までに，編集委員会に届ける。編集委員会に届けられた日をもって受付日とする。編集委員会は，割付けおよび全体としての統一などをはかるために，著者に対し表現方法その他の変更，削除などを求めることがある。

原稿の書き方：原稿は，次の規定に従って書かれたものであること。

1. 表紙（原稿第一枚目）の前半には表題，著者名，所属およびその所在地，ランニング・タイトルをこの順に従って書く。なお，外国語原稿の場合は，上記各項の日本語を併記する。

   後半には原稿の枚数，図，表の数，別刷希望部数を書く。筆者の所属の表記は，筆頭者は無記号，共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に*, **……印をつける。

2. 原稿には，英文の表題，著者名，所属，抄録（20行，または200 words 程度）および Key words（8語以内）をつける。著者名の姓は，大文字で表記する。

3. 欧文原稿および英文抄録は，必ずダブル・スペースでタイプする。また，当該国人が読んで，正確，明快に理解できるものでなければならない。

   和文原稿は原則として，常用漢字，ひらがな，現代かなづかいを用い，B5版の400字詰横書き（論文の内容上とくに必要な場合は縦書き）原稿用紙に清書する。外国語固有名詞（人名など）は原語を，一般に日本語化された外国語は，片かなを用いる。度量衡は，CGS 単位とする。

4. 論文の項目の区分は，原則として下記の例に従う。

   大項目……無記号で下線をつけ，前を一行あける。原著論文の緒言（INTRODUCTION），材料（MATERIALS），方法（METHODS），結果（RESULTS），考察（DISCUSSION）などが相当する。

   小項目……以下の順で使用する。

   1.，2.……行の第1字目に記す。

   1)，2)……行の第2字目に記す。

   a.，b.……行の第2字目に記す。

   a)，b)……行の第3字目に記す。

5. 図(Figure)および表(Table)には，それぞれ別の通し番号をつける。図版(Plate)や写真（原則として白黒）は，図として取り扱う。

   図はなるべく原寸大とし，明瞭でそのまま印刷できるものとする。図版は（14×20 cm）以内にまとめる。図は台紙（20×26 cm 以下）に貼り，さらに薄紙のカバーをつける。カバーには筆頭者名，ランニング・タイトル，図の通し番号を記入する。

   図，表の説明文は，まとめて原稿の末尾につけ，原稿本文中の欄外余白部に，図，表の挿入位置を朱記し明示する。

6. 謝辞は，本文の末尾に入れる。

7. 文献は，下記の要領に従い，引用順に配列し，本文の末尾に一括記載する。外国語文献は必ずタイプする。

   本文中の文献引用箇所には著者名や引用文などの右肩に，その文献番号を[1]，[1,3,6]，[2-5]のように記す。

   雑誌の場合

   全著者名，表題，掲載誌名，巻数（必要であれば号数），頁数（頁-頁），発行年（西暦）の順に記す。雑誌略名は，日本医学雑誌略名表（日本医学図書館協会編）および Index Medicus に従う。

〔例〕

1) Sakaguchi, K. & Jameson, E. W.: Two new fleas from Japan. J. Med. Zool. 10: 156-162, 1959.

2) 菅沼美奈子，内山和美，三井政子：性周期記録表の試み，母性衛生 19(1)：76-82, 1978.

単行本の場合

著者名，(表題)，書名（版数)，(編者名)，引用頁（頁-頁）または（総頁数)，発行所，発行地，発行年（西暦）の順に記す。

〔例〕

1) Wintrobe, M. M.: The erthrocyte. In Clinical Hematology, 7th ed., p. 80-220, Lea and Febiger, Philadelphia, 1974.

2) Schwartz, T. W. & Tager, H. S.: Biosynthesis of pancreatic polypeptide. In Gut Hormones, 2nd ed., ed. Bloom, S. R. & Polak, J. M., p. 202-205, Churchill Livingston, Edinburgh, London, Melbourne, New York, 1981.

3) Hodgkin, A. L.: The Conduction of the Nervous Impulse. 108 P., Liverpool Univ. Press, Liverpool, 1964.

4) 冨田　仁：救急時検査の手技と解釈，アミラーゼ「検査診断マニュアル（第1版)」冨田　仁，熊谷直家，内田耕太郎編，p. 96-99，メヂカルフレンド社，東京，1978.

5) 城戸幡太郎：文化心理学の探究，390 P.，国土社，東京，1970.

原稿の枚数：原著論文，総説は，原則として図，表などを含め刷り上り10頁以内，短報などは同じく4頁以内とする。なお，本誌1頁は，400字詰原稿用紙約4枚分に相当する。図は，手札大（9×13 cm）が原稿用紙約2枚分に相当する。

校　　正：著者による校正は，再校までとし，校正時における内容の変更や追加は認めない。

印 刷 費：原図の描画を外部に依頼するときや，カラー写真印刷を希望するときなどは，その経費は著者の負担とする。

別　　刷：別刷は50部を単位とし，50部をこえる分の経費は原則として著者の負担とする。

編　集　後　記

3年間続いた新設学科の過渡的な期間も終了し本短期大学部も創立11年目を迎えた。10年をひと区切りとすれば新しい年代に入ったことになる。本学が今後ますます充実しこれにともなって教官の研究条件が整備され研究がより活発化するならば本誌にとって誠に喜ばしいことである。

前号で達成された紀要の年内発行を本年も継続するために編集作業は境界条件を先においたスケジュールとなった。このために投稿者，編集作業にたずさわった者には時間的にずいぶんと窮屈であったと思われる。投稿の締切り日を規定通りにしたがこれでも投稿から発表まで最低6ヶ月を要することになり論文の速報性という点では未だ十分とは言えない。又投稿者は最も忙しい学年始めに論文の準備をしなければならない場合が多いものと思われる。投稿者が夏期休業中を利用して論文が書け，しかも年内発行されることが望ましい。

本号は広い学問領域から投稿された8編の論文を掲載した。投稿された論文は紀要の学術誌としての機能を保持するよう編集委員が閲読にあたった。しかし閲読には限界がある。紀要が学術誌としてより高い評価を継続して得るためには投稿者自身がよりよい論文をより多く寄せられることが必要である。このことは研究条件と不可分の関係にあるがそれを克服して次号にも優れた論文を数多く投稿していただきたい。

昭和60年10月

紀要編集委員長　中村定男

紀要編集委員　福崎哲　加茂映子
木俣祐子　岸下雅通
松永正人　三好暁光
野村嶬　大橋ミツ
斎明寺央　菅沼美奈子
武田功

（ＡＢＣ順）

京都大学医療技術短期大学部紀要　第5号

Annual Reports of the College of Medical Technology, Kyoto University No. 5

昭和60年12年10日　印刷・発行

印　刷　共同印刷工業株式会社
京都市右京区西院久田町78

発　行　京都大学医療技術短期大学部
京都市左京区聖護院川原町53

ANNUAL REPORTS
OF
THE COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGY,
KYOTO UNIVERSITY

No. 5 **1985**

CONTENTS

Reviews

Kasahara, K. and Yamamuro, T.: Immune Surveillance and Adoptive Immunotherapy 1

Hama, H.: Fracture Associated with Aging 8

Originals

Kawasaki, N., Yamamoto, M., Tanaka, Y., Nishimura, K. and Uemura, M.: Determination of the Mannan-Binding Protein in Normal and Patients' Sera by Radioimmunoassay 17

Kasahara, K., Ikeda, T., Okumura, H., Yamamuro, T. and Fujita, A.: Efficacy of Homogenous Bone Grafting in McCune-Albright Syndrome 30

Kuroki, H. and Akamatsu, I.: The Target Speed and Distance of Hemiplegic Independent Gait in Hospital 41

Shiraishi, Y.; Adequate Education and Local Control of Education —American Education in Legal Cases (3)— 47

Kamo, E.: Adrienne Rich's *The Will to Change* —A New Start Again— 60

Ishii, S.: The presence of Human Being —Philosophical Meditation— 73

Instructions to Authors 89

Editorial Notes

Ann. Rep.
Col. Med. Tech.,
Kyoto Univ.

ISSN
0286 - 7850